

プログラム

9月25日(木)

9:15 開会の辞

9:20-11:10 シンポジウム1「臨床プロテオミクス」

オーガナイザー: 小田 吉哉 (東京大学 大学院医学系、エーザイ(株)コアテクノロジー研究所)

座長: 小田 吉哉、眞野 成康 (東北大学 医学部付属病院薬剤部)

S1-1 野村 文夫^{1,2}、梅村 啓史¹、曾川 一幸²、朝長 毅¹、小寺 義男^{2,3}

(¹千葉大学大学院医学研究院、²千葉大学医学部附属病院、³北里大学理学部)

「疾患プロテオミクス "From Bench to Bedside"」

S1-2 柳澤 聖^{1,2}、富田 秀太²、高橋 隆²

(¹名古屋大学 高等研究院、²名古屋大学大学院医学系研究科)

「プロテオミクス解析技術を応用した呼吸器疾患関連分子の探索とその臨床応用」

S1-3 渡辺 真、西村 紀 (大阪大学蛋白質研究所、(株) 島津製作所)

「新規バイオマーカー探索システムを用いた疾患プロテオミクス – その現状と展望 –」

S1-4 高尾 敏文 (大阪大学蛋白質研究所 プロテオミクス総合研究センター)

「体液プロテオミクスによるバイオマーカー探索 – 質量分析と周辺技術における課題 –」

11:10 休憩

11:20 特別講演 座長: 久原 とみ子 (金沢医科大学 総合医学研究所)

L1 清水 孝雄 (東京大学大学院医学系研究科 細胞情報学)

「脂質メディエーターから脂質代謝へ」

12:10 昼食、評議員会 (13階)

12:50 総会 (14階)

13:20-14:30 企業講演 座長: 小林 哲幸 (お茶の水女子大学 理学部生物学科)

I-1 窪田 雅之 (サーモフィッシュャーサイエンティフィック株式会社)

「SRM Workflow ソフトウェアを用いた Targeted Protein Quantitation」

I-2 前田 斉嘉 (アジレント・テクノロジー株式会社)

「Agilent Jet Stream Technology による新製品 超高感度 LC/MS/MS 6460 と Q-TOF6530 のご紹介」

I-3 八巻 聡 (株式会社 島津製作所)

「高精度MSⁿ測定による薬物代謝物解析」

I-4 青 志津男、永嶋 淳、井元 淳、石川 貴正、大橋 由明、菅野 隆二

(ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社)

「CE-MS を用いたメタボローム解析 (疾患・毒性バイオマーカー)」

- I-5 小梶 哲雄、多田 美保、大関 由利子
(アプライドバイオシステムズジャパン株式会社)
「多成分一斉分析におけるScheduled MRM™の効果」
- I-6 瀬田 丈士、岩崎 了教、細田 晴夫 (ブルカー・ダルトニクス株式会社)
「新しい超高分解能質量分析装置 maXis のご紹介」

14:30-16:20 シンポジウム2「バイオマーカー活用による個別化医療の展開」

オーガナイザー: 久原 とみ子 (金沢医科大学 総合医学研究所)

座長: 久原 とみ子、重松 陽介 (福井大学 医学部看護学科 健康科学領域)

- S2-1 長谷川 美奈^{1,2}、井手 美佳²、桑村 充¹、山手 丈至¹、竹中 重雄¹
(¹大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科、²田辺三菱製薬 (株) 安全性研究所)
「FT-ICR MS を用いたメタボリックフィンガープリンティングの毒性評価への適用」
- S2-2* 柴崎 浩美、岡本 佐和子、古田 隆 (東京薬科大学 臨床薬学教室)
「内因性 cortisol の 6β-水酸化代謝クリアランスはヒト *in vivo* における CYP3A4 活性のバイオマーカーとなる」
- S2-3 重松 陽介 (福井大学医学部看護学科健康科学)
「多施設タンデムマス・スクリーニングの実績と検討課題」
- S2-4 久原 とみ子 (金沢医科大学総合医学研究所)
「GC/MS-based metabolic profiling の個別化医療への応用」

16:20 休憩

16:40-18:30 シンポジウム3「内因性生理活性物質を標的とした病態解析へのアプローチ」

オーガナイザー: 池川 繁男 (近畿大学 薬学部)

座長: 池川 繁男、古田 隆 (東京薬科大学 臨床薬学教室)

- S3-1 後藤 貴章 (東北大学大学院薬学研究科臨床分析化学分野)
「LC/MS による尿中抱合型胆汁酸の高感度分析」
- S3-2 東 達也 (金沢大学医薬保健研究域薬学系)
「唾液を用いる無侵襲ホルモン検査法の開発」
- S3-3 宮澤 陽夫¹、仲川 清隆¹、指宿 大悟¹、浅井 明²、及川 眞一²
(¹東北大院 農学研究科 機能分子解析学、²日本医科大学 第三内科 内分泌代謝)
「LC-MS/MS による脂質ヒドロペルオキシドの網羅的解析と定量」
- S3-4 升島 努、津山 尚宏、堀江 洋平、水野 初
(広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子治療デバイス学講座)
「1 細胞ダイレクト MS 法による変動因子追跡」
- S3-5* 横川 彰朋、柴崎 浩美、粕谷 泰次、古田 隆 (東京薬科大学薬学部臨床薬学教室)
「安定同位体標識コルチゾールを用いたヒト *in vivo* 11β-HSD 評価」

18:30 懇親会 (13 階 カポ ペリカーノ)

* 一般演題から採択

9月26日(金)

9:00-10:40 シンポジウム4「肥満・炎症とメタボロミクス」

オーガナイザー: 田口 良 (東京大学 大学院医学系研究科メタボローム講座)

座長: 田口 良、有田 誠 (東京大学 大学院薬学系研究科衛生化学)

S4-1 田口 良 (東京大学大学院医学系研究科メタボローム講座、JST,CREST)

「脂質代謝異常症とメタボロミクス」

S4-2 曾我 朋義 (慶應義塾大学先端生命科学研究所、慶應義塾大学医学部)

「メタボローム解析によるバイオマーカーの探索」

S4-3 佐野 元昭^{1,2}、遠藤 仁¹、片山 隆晴¹ (¹慶應義塾大学医学部、²JST, さきがけ)

「セリン合成経路は、アルデヒドによって誘導される心筋抗酸化ストレス応答において重要な役目を果たす」

S4-4 有田 誠 (東京大学大学院薬学系研究科衛生化学、JST さきがけ)

「抗炎症性脂質メディエーターの代謝と機能制御」

10:40 招待講演 座長: 田口 良 (東京大学 大学院医学系研究科メタボローム講座)

L2 Kim Ekroos (VTT Technical Research Center of Finland)

“Lipidomics in Health and Disease”

11:20 休憩

11:30 松本勇賞受賞講演 座長: 和田 芳直 (大阪府立母子保健総合医療センター)

L3 中西 豊文 (大阪医科大学 臨床検査医学)

「清水章先生の業績紹介 ー質量分析による病態解明と病気診断ー」

11:50 奨励賞受賞講演 座長: 和田 芳直 (大阪府立母子保健総合医療センター)

L4 三田村 邦子 (近畿大学 薬学部)

「LC/MSによる胆汁酸のグルタチオン抱合に関する研究」

12:10 昼食

12:40 ポスター発表 (13 階)

(P1 - P27)

14:10-16:00 シンポジウム 5「法医学領域のマススペクトロメトリー」

オーガナイザー: 佐藤 啓造 (昭和大学 医学部)

座長: 佐藤 啓造、土橋 均 (大阪府警察本部 科学捜査研究所)

S5-1 長谷川 智華^{1,2}、熊澤 武志²、佐藤 啓造²

(¹東京女子医科大学医学部法医学教室 ²昭和大学医学部法医学教室)

「生体試料中薬毒物の GC/MS 分析における固相抽出チップの開発と応用」

S5-2 原 健二¹、久保 真一¹、柏木 正之¹、松末 綾¹、藤井 広志^{1,2}、影浦 光義¹

(¹福岡大学医学部法医学教室 ²九州厚生局麻薬取締部小倉分室)

「GC-MS 分析による体組織中微量覚せい剤分析のための前処理法の開発」

S5-3 片木 宗弘、財津 桂、志摩 典明、土橋 均 (大阪府警察本部科学捜査研究所)

「GC-MS による法規制薬物の構造異性体分析」

S5-4 李 曉鵬、熊澤 武志、佐藤 啓造 (昭和大学医学部法医学教室)

「ダイレクト注入 HPLC-MS/MS 法の生体試料中薬物及び代謝物分析への応用」

S5-5 鈴木 真一 (科学警察研究所)

「誘導結合プラズマ質量分析法の無機毒物分析への応用」

S5-6* 柏木 正之¹、原 健二¹、藤井 広志^{1,2}、影浦 光義¹、高本 睦夫¹、松末 綾¹、 杉村 朋子¹、久保 真一¹

(¹福岡大学医学部法医学教室、²九州厚生局麻薬取締部小倉分室)

「低温オープン GC/MS を用いた体液からの acetylene 分析法の検討」

16:00 休憩

16:20-18:10 シンポジウム 6「薬物動態、副作用とマススペクトロメトリー」

オーガナイザー: 橋本 豊 (山梨大学クリーンエネルギー研究センター)

座長: 橋本 豊、飯田 順子 (株式会社 島津製作所分析計測事業部)

S6-1 池田 敏彦 (横浜薬科大学臨床薬学科、東京大学大学院薬学系研究科)

「特異体質性薬物毒性 —最近の知見—」

S6-2 新京 楽、川口 晋紀、草野 一富、山本 正枝、佐野 善寿、吉村 勉

(エーザイ株式会社 薬物動態室)

「新薬開発における副作用リスク回避のための反応性代謝物評価」

S6-3 荒井 真一¹、麻生 良典²、白鳥 康彦¹

(中外製薬株式会社 ¹創薬基盤技術研究部、²前臨床研究部)

「医薬品開発における Reactive Metabolite 評価 —ある慢性疾患治療薬を例に—」

S6-4 岩渕 晴男 (第一三共株式会社 研究開発本部 薬物動態研究所)

「創薬における毒性リスク評価のためのマススペクトロメトリー」

18:10 閉会

* 一般演題から採択